

## 今週のひと

賃貸住宅の企画を行うクラシヲ（東京都葛飾区）の杉浦雅弘社長。長年、不動産業界で経験を積み、昨年、独立。猫共生型の賃貸住宅を企画する。



クラシヲ  
（東京都葛飾区）  
杉浦雅弘社長 54

### 猫の習性を徹底研究 理想を追求する日々

#### プロフィール

1961年3月30日生まれ。東京都葛飾区出身。1987年、日本大学商学部卒業。寝具の間屋で営業を経験した後、京葉リハウス（現・京葉リネット）に転職。1992年、ダイニチに入社。2014年8月、クラシヲを創業。

#### バブル時代、ダイナミックな取引経験

「もっと大きな取引をやってみたい」と25歳だった杉浦青年は、当時、「三井のリハウス」グループだった不動産会社に入社、売買仲介の最前線にいた。時はバブル絶頂期。地価の高騰率が全国No.1になった千葉県浦安市を担当。「1億2～3千万円のマンションが少ししたら2億円で売っていました」。戸建て住宅もキャピタルゲインを狙う投機対象だったという。その後、売買だけでなくさらに広く不動産業に携わりたいと、浦安地盤の不動産会社ダイニチに入った。ダイニチ時代を「賃貸管理業が大きく変わるのを肌身で実感できた」と振り返る。J-REITの創設でリート物件のPM受注に奔走した。また築古物件を再生するリノベーションに注力。管理部門の責任者として指揮を執った。

#### 猫と暮らせる賃貸を研究

自分が考えることを具現化していきたいという思いが強くなり、昨年、独立。5年前から温めていた猫との共生型物件の企画を始めた。徹底したのが「猫研究」。ペットシッターの育成学校の講座を受けたり、猫カフェに通いその生態を観察した。爪とぎに強い床材やクロスを取り寄せては吟味し1年かけて選んだ。「猫は高い所や外を見られる場所が好き」と知って猫が居心地のいいキャットウォークを独自に作った。リノベだけでなく新築企画でも導入が決まり来年2月竣工予定だ。好きな家族旅行やドライブの時間が最近は取れなくなったというのが毎日充実した日々を送っている。